

## 島根県産はちみつで地域活性化を目指す



「島根県をはちみつで盛り上げたい」と島根県観光連盟に約5年間勤務した後、養蜂家に転身した松江市の泉 智加さんは、県内で最年少の養蜂女子です。

島根県観光連盟に勤務し、観光誘致の業務に携わっていた泉さんは、「細長くて、離島もある島根県を1つのモノで盛り上げたい」という思いを強く抱くようになり、親戚が養蜂家だったことや幼い頃からのちみつ好きが高じて、はちみつに着目。

島根県観光連盟を退職後、はちみつの知識を深めるために「はちみつマイスター」の資格を取得。同時に県内の養蜂家を訪ね歩いたところ、県内では小規模な生産者が多いうえに、採蜜地域の制限などで総じて収益性が低く、手間を掛けて販売を行う養蜂家が少ない状況となっていました。また、後継者問題にも直面しており、養蜂家が年々減少している実態を目の



作業中の泉さん



県内各地の生はちみつセット  
(左から益田、出雲、松江、美郷、大田)

当たりにされました。自身も新たに参入するためにはその土地の環境など様々な技術を習得する必要があることを知り、ベテラン養蜂家の指導を仰ぐことを決意。知り合いの養蜂家に弟子入りされました。こうして平成29年4月に養蜂を開始し、自身ではちみつを生産する傍ら、県内の養蜂家からはちみつを仕入れ、県産はちみつの販売拡大と知名度アップのため、はちみつ仕入れ販売者として平成29年5月に起業。

栄養成分が豊富な天然の非加熱はちみつにこだわり、その土地の蜜源や気候風土により風味が異なる特徴を活かし、地域色を全面に出した商品を作って、島根県産はちみつをアピールした販売を展開されています。

今後は、「県内の養蜂家に支えてもらいながら、島根県産はちみつを県内はもとより全国の多くの方に届けて島根県を知っていただくこと」、「ミツバチを通じた食育により自然と共生していく地域づくりを目指すこと」、「はちみつを軸とした健康へのサポートと食の提案など」を柱にして様々な取り組みを検討中です。また、農業女子プロジェクトに参加し、メンバーとのコラボ商品の企画や6次産業化による付加価値を付けた加工品開発等もチャレンジしたいと意気込みを話されました。こうした取り組みを通じて、地域活性化につながることを大いに期待されています。



写真提供：泉 智加

ホームページ

<https://ja-jp.facebook.com/shimane.ichica/>



泉 智加さん



はちみつを軸とした食育活動

## 「第3回 食育活動表彰～平成31年度～」募集開始について



農林水産省は、農林漁業、食品製造・販売等の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、食育の推進に取り組む者を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として「食育活動表彰」を行います。

ボランティア部門（都道府県、政令指定都市及び大学の長による推薦）と教育関係者・事業者部門（自薦又は他薦）を設けていますので、皆様の御応募をお待ちしております。



1. ボランティア部門：応募締切：平成30年10月31日（水曜日）
2. 教育関係者・事業者部門：応募締切：平成30年11月9日（金曜日）

詳しくは、こちらのプレスリリースをご覧ください。

「第3回 食育活動表彰～平成31年度～」募集開始について(農林水産省ホームページ)

<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/180817.html>

## 「牛乳が好き。」MILK・JAPAN中国四国フォトコンテスト2018の作品の募集中

牛乳、乳製品の消費拡大の一環として、「牛乳が好き。」MILK・JAPAN中国四国フォトコンテストを実施します。

募集は、中国四国地域在住の方で期間が平成30年9月30日（当日消印有効）までとなっております。牛乳を飲む、乳製品を食べる、あるいは乳牛とのふれあいなどのテーマに沿った作品の応募をお待ちしております。



### 昨年の作品



作品名「なでなでできたよっ！」



作品名「どこからどこから食べよかな」



詳しくは、こちらのプレスリリースをご覧ください。

「牛乳が好き。」MILK・JAPAN中国四国フォトコンテスト2018の作品の募集について

[http://www.maff.go.jp/chushi/press/se\\_chikusan/180615.html](http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_chikusan/180615.html)